【別紙】講師の職種

脳卒中			
科目名			講師の職種
必須科目	1	正常な構造・機能と疾病の基礎	
	2	医学的診断と治療介入	
	3	理学療法介入の意義と理学療法士の役割	理学療法士のみ
	4	疾患によって生じる障害とその評価および予後予測	
	5	脳卒中後の運動機能障害に対する理学療法	理学療法士のみ
	6	脳卒中後の高次脳機能障害に対する理学療法	理学療法士のみ
	7	脳卒中後の活動・参加制限に対する理学療法	理学療法士のみ
	8	早期離床と合併症予防のための急性期理学療法	理学療法士のみ
	9	機能回復と日常生活活動自立に向けた回復期理学療法	理学療法士のみ
	10	在宅生活の充実と社会参加促進のための生活期理学療法	理学療法士のみ
	11	終末期における理学療法	理学療法士のみ
	12	自立支援や疾病管理の補助具．機器とその活用	
	13	発症予防、重症化予防、再発予防	
	14	患者・家族教育の意義とその方法	
	15	社会資源の活用	
選択科目	1	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編１）（脳画像評価の実際）	
	2	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編２）（リスク管理の実際）	理学療法士のみ
	3	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編３）（歩行再建の実際）	理学療法士のみ
	4	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編４）（ニューロモデュレーションの実際）	理学療法士のみ
	5	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編５）（装具療法の実際）	理学療法士のみ
	6	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編６）（上肢トレーニングの実際）	理学療法士のみ
	7	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編７）（ロボット療法の実際）	理学療法士のみ
	8	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編８）（予後予測の実際）	理学療法士のみ

【別紙】講師の職種

神経筋障害

科目名			講師の職種
必須科目	1	正常な構造・機能と疾病の基礎	
	2	医学的診断と治療介入	
	3	理学療法介入の意義と理学療法士の役割	理学療法士のみ
	4	疾患によって生じる障害とその評価および予後予測	
	5	神経筋障害の運動機能障害に対する理学療法	理学療法士のみ
	6	神経筋障害の非運動機能障害に対する理学療法	理学療法士のみ
	7	神経筋障害の活動・参加制限に対する理学療法	理学療法士のみ
	8	機能障害に対する発症早期の理学療法	理学療法士のみ
	9	機能改善と日常生活活動自立に向けた改善期理学療法	理学療法士のみ
	10	在宅生活の充実と社会参加促進のための生活期理学療法	理学療法士のみ
	11	終末期における理学療法	理学療法士のみ
	12	自立支援や疾病管理の補助具．機器とその活用	
	13	発症予防、重症化予防、合併症予防	
	14	患者・家族教育の意義とその方法	
	15	社会資源の活用	
選択科目	1	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編１）（神経筋障害に対する評価の実際）	理学療法士のみ
	2	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編２）（パーキンソン病の実際）	理学療法士のみ
	3	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編３）（脊髄小脳変性症の実際）	理学療法士のみ
	4	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編４）（筋ジストロフィー症の実際）	理学療法士のみ
	5	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編５）（重症筋無力症の実際）	理学療法士のみ
	6	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編６）（筋萎縮性側索硬化症の実際）	理学療法士のみ
	7	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編７）（ギラン・バレー症候群の実際）	理学療法士のみ
	8	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編８）（多発性硬化症の実際）	理学療法士のみ

【別紙】講師の職種

脊髄障害			
科目名			講師の職種
必須科目	1	正常な構造・機能と疾病の基礎	
	2	医学的診断と治療介入	
	3	理学療法介入の意義と理学療法士の役割	理学療法士のみ
	4	疾患によって生じる障害とその評価および予後予測	
	5	脊髄損傷後の運動機能障害に対する理学療法	理学療法士のみ
	6	脊髄損傷後の呼吸障害・循環障害に対する理学療法	理学療法士のみ
	7	脊髄損傷後の活動・参加制限に対する理学療法	理学療法士のみ
	8	早期離床と合併症予防のための急性期理学療法	理学療法士のみ
	9	機能回復と日常生活活動自立に向けた回復期理学療法	理学療法士のみ
	10	在宅生活の充実と社会参加促進のための生活期理学療法	理学療法士のみ
	11	終末期における理学療法脊髄損傷者の排尿・排便障害と性機能障害に対する理学療法	理学療法士のみ
	12	自立支援や疾病管理の補助具．機器とその活用	
	13	合併症予防や医学的管理	
	14	患者・家族教育の意義とその方法	
	15	社会資源の活用	
選択科目	1	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編１）（脊髄損傷の機能障害に対する評価の実際）	理学療法士のみ
	2	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編２）（リスク管理と合併症予防の実際）	
	3	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編３）（呼吸理学療法の実際）	理学療法士のみ
	4	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編４）（基本動作練習の実際　臥位～座位～移乗動作を中心に）	理学療法士のみ
	5	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編５）（基本動作練習の実際　車椅子操作・立位・歩行を中心に）	理学療法士のみ
	6	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編６）（ADL 練習の実際　食事・整容・更衣・排泄・入浴）	
	7	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編７）（ロボット療法と電気刺激療法の実際）	
	8	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編８）（自動車運転や障がい者スポーツの実際）	

【別紙】講師の職種

発達障害			
科目名			講師の職種
必須科目	1	正常な構造・機能と疾病の基礎	
	2	医学的診断と治療介入	
	3	理学療法介入の意義と理学療法士の役割	理学療法士のみ
	4	疾患によって生じる障害とその評価および予後予測	
	5	運動・精神発達とその評価方法	
	6	中枢神経系疾患に対する理学療法①	理学療法士のみ
	7	中枢神経系疾患に対する理学療法②	理学療法士のみ
	8	筋・骨格系疾患に対する理学療法	理学療法士のみ
	9	小児期の内部障害に対する理学療法	理学療法士のみ
	10	低出生体重児・ハイリスク児に対する理学療法	理学療法士のみ
	11	医療的ケア児・重症心身障害児に対する理学療法	理学療法士のみ
	12	生活支援や疾病管理の補助具．機器とその活用	
	13	重症化予防、合併症予防	
	14	患者・家族教育の意義とその方法	
	15	社会資源の活用	
選択科目	1	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編１）（運動発達に伴う姿勢反射の評価の実際）	理学療法士のみ
	2	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編２）（新生児期・乳児期の理学療法の実際）	理学療法士のみ
	3	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編３）（幼児期の理学療法の実際）	理学療法士のみ
	4	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編４）（学齢期の理学療法の実際）	理学療法士のみ
	5	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編５）（成人期の理学療法の実際）	理学療法士のみ
	6	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編６）（義肢・装具療法の実際）	
	7	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編７）（日常生活における福祉工学的アプローチの実際）	
	8	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編８）（療育・就学支援の実際）	

【別紙】講師の職種

運動器			
科目名			講師の職種
必須科目	1	正常な構造・機能と疾病の基礎	
	2	医学的診断と治療介入	
	3	理学療法介入の意義と理学療法士の役割	理学療法士のみ
	4	疾患によって生じる障害とその評価および予後予測	理学療法士のみ
	5	筋力評価の方法と筋力増強のメカニズム	理学療法士のみ
	6	関節可動域制限の要因と治療手技	理学療法士のみ
	7	運動器疼痛の評価と理学療法	理学療法士のみ
	8	骨折・外傷後の治癒過程と理学療法	理学療法士のみ
	9	変形性関節症の理学療法	理学療法士のみ
	10	筋・腱・靱帯損傷後の外科的治療と理学療法	理学療法士のみ
	11	末梢神経障害の理学療法	理学療法士のみ
	12	自立支援や疾病管理の補助具．機器とその活用	
	13	発症予防、重症化予防、再発予防	
	14	患者・家族教育の意義とその方法	
	15	社会資源の活用	
選択科目	1	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編１）（運動器画像評価の実際）	
	2	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編２）（肩関節疾患の機能解剖と理学療法）	理学療法士のみ
	3	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編３）（脊椎疾患の機能解剖と理学療法）	理学療法士のみ
	4	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編４）（股関節疾患の機能解剖と理学療法）	理学療法士のみ
	5	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編５）（膝関節疾患の機能解剖と理学療法）	理学療法士のみ
	6	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編６）（足関節疾患の機能解剖と理学療法）	理学療法士のみ
	7	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編７）（姿勢・歩行の評価・分析と理学療法の実際）	理学療法士のみ
	8	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編８）（多関節運動連鎖の評価と理学療法の実際）	理学療法士のみ

【別紙】講師の職種

切断			
科目名			講師の職種
必須科目	1	正常な構造・機能と疾病の基礎	
	2	医学的診断と治療介入	
	3	理学療法介入の意義と理学療法士の役割	理学療法士のみ
	4	疾患によって生じる障害とその評価および予後予測	
	5	下肢切断に対する理学療法ガイドラインとその適応	理学療法士のみ
	6	義肢の種類と構造的特徴	
	7	義肢のバイオメカニクス	
	8	切断肢の機能向上に向けた義足装着前の理学療法	理学療法士のみ
	9	歩行能力向上に向けた義足装着後の理学療法	理学療法士のみ
	10	日常生活活動の自立に向けた義肢装着後の理学療法	理学療法士のみ
	11	終末期における理学療法	理学療法士のみ
	12	自立支援や疾病管理の補助具．機器とその活用	
	13	発症予防、重症化予防、再発予防	
	14	患者・家族教育の意義とその方法	
	15	社会資源の活用	
選択科目	1	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編１）（切断術前評価と理学療法介入）	理学療法士のみ
	2	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編２）（術後の断端管理）	
	3	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編３）（義肢装着前断端トレーニング）	理学療法士のみ
	4	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編４）（義肢装着下での立位・歩行トレーニング）	理学療法士のみ
	5	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編５）（義肢装着下でのADLトレーニング）	理学療法士のみ
	6	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編６）（義肢アライメントの問題と対処方法）	
	7	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編７）（断端痛や幻肢痛の問題と対処方法）	
	8	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編８）（断端の衛生管理）	

【別紙】講師の職種

スポーツ理学療法

科目名			講師の職種
必須科目	1	スポーツ理学療法　総論	理学療法士のみ
	2	医学的診断と治療介入	
	3	スポーツ外傷・障害の機能評価	理学療法士のみ
	4	アンチドーピング	
	5	スポーツ外傷の急性期対応	
	6	スポーツ外傷・障害のアスレティックリハビリテーション	理学療法士のみ
	7	スポーツ外傷・障害の発生・再発予防のための理学療法	理学療法士のみ
	8	パフォーマンス向上のための介入とその方法	理学療法士のみ
	9	スポーツ外傷・障害への理学療法　上肢	理学療法士のみ
	10	スポーツ外傷・障害への理学療法　下肢	理学療法士のみ
	11	スポーツ外傷・障害への理学療法　頭頸部・体幹	理学療法士のみ
	12	患者・家族教育の意義とその方法	
	13	スポーツ用装具・テーピング・物理療法とその活用	理学療法士のみ
	14	障がい者スポーツ　総論	
	15	障がい者スポーツ　障害別各論	
選択科目	1	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編１）（画像評価の実際）	
	2	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編２）（救急対応の実際）	
	3	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編３）（スポーツ用装具・テーピング　上肢・体幹）	理学療法士のみ
	4	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編４）（スポーツ用装具・テーピング　下肢）	理学療法士のみ
	5	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編５）（物理療法）	理学療法士のみ
	6	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編４）（スポーツ選手に対する徒手療法）	理学療法士のみ
	7	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編７）（パフォーマンス向上・予防トレーニングの実際）	理学療法士のみ
	8	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編８）（障がい者スポーツの競技・障害別対応の実際）	理学療法士のみ

【別紙】講師の職種

徒手理学療法

科目名			講師の職種
必須科目	1	徒手理学療法のエビデンス	理学療法士のみ
	2	神経筋骨格系システムの解剖学・生理学	
	3	神経筋骨格系機能障害の病態	
	4	徒手理学療法の臨床科学	理学療法士のみ
	5	徒手理学療法の行動科学	理学療法士のみ
	6	徒手理学療法に必要な機能評価とその解釈	理学療法士のみ
	7	神経筋骨格系機能障害の管理・予防	
	8	クリニカルリーズニングにおける仮説カテゴリとリーズニングプロセス	
	9	クリニカルリーズニングを用いた臨床意思決定	
	10	徒手理学療法のためのコミュニケーションスキル	理学療法士のみ
	11	関節系に対する徒手理学療法	理学療法士のみ
	12	軟部組織に対する徒手理学療法	理学療法士のみ
	13	神経系に対する徒手理学療法	理学療法士のみ
	14	徒手理学療法におけるスクリーニング検査	理学療法士のみ
	15	徒手理学療法の研究法	理学療法士のみ
選択科目	1	症例に基づく徒手理学療法の評価と介入（技術編１）（肩関節）	理学療法士のみ
	2	症例に基づく徒手理学療法の評価と介入（技術編２）（頸椎・胸椎）	理学療法士のみ
	3	症例に基づく徒手理学療法の評価と介入（技術編３）（腰椎・骨盤帯）	理学療法士のみ
	4	症例に基づく徒手理学療法の評価と介入（技術編４）（股関節）	理学療法士のみ
	5	症例に基づく徒手理学療法の評価と介入（技術編５）（膝関節）	理学療法士のみ
	6	症例に基づく徒手理学療法の評価と介入（技術編６）（足関節．足部）	理学療法士のみ
	7	症例に基づく徒手理学療法の評価と介入（技術編７）（肘・手関節・手指）	理学療法士のみ
	8	症例に基づく徒手理学療法の評価と介入（技術編８）（顔面・前庭機能）	理学療法士のみ

【別紙】講師の職種

循環

科目名			講師の職種
必須科目	1	正常な構造・機能と疾病の基礎	
	2	医学的診断と治療介入	
	3	理学療法介入の意義と理学療法士の役割	理学療法士のみ
	4	疾患によって生じる障害とその評価および予後予測	
	5	虚血性心疾患患者に対する循環器理学療法	理学療法士のみ
	6	心不全患者に対する循環器理学療法	理学療法士のみ
	7	大血管疾患患者に対する循環器理学療法	理学療法士のみ
	8	末梢血管疾患に対する循環器理学療法	理学療法士のみ
	9	腎機能障害に対する循環器理学療法	理学療法士のみ
	10	高齢者循環器疾患に対する循環器理学療法	理学療法士のみ
	11	終末期における理学療法	理学療法士のみ
	12	自立支援や疾病管理の補助具．機器とその活用	
	13	発症予防、重症化予防、再発予防	
	14	患者・家族教育の意義とその方法	
	15	社会資源の活用	
選択科目	1	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編１）（心電図の診かた）	
	2	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編２）（循環・腎機能障害把握のための理学療法評価の実際）	理学療法士のみ
	3	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編３）（循環器理学療法に必要な機能的能力の評価指標）	理学療法士のみ
	4	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編４）（運動負荷試験・運動処方立案の実際）	
	5	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編５）（リスク管理の実際）	理学療法士のみ
	6	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編６）（高齢心血管器疾患に対する運動療法の実際）	理学療法士のみ
	7	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編７）（慢性心不全患者に対する運動療法の実際）	理学療法士のみ
	8	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編８）（大血管疾患に対する運動療法の実際）	理学療法士のみ

【別紙】講師の職種

呼吸			
科目名			講師の職種
必須科目	1	正常な構造・機能と疾病の基礎	
	2	医学的診断と治療介入	
	3	理学療法介入の意義と理学療法士の役割	理学療法士のみ
	4	疾患によって生じる障害とその評価および予後予測	
	5	慢性閉塞性肺疾患患者に対する呼吸理学療法	理学療法士のみ
	6	間質性肺疾患患者に対する呼吸理学療法	理学療法士のみ
	7	人工呼吸器管理患者に対する呼吸理学療法	理学療法士のみ
	8	神経筋疾患患者に対する呼吸理学療法	理学療法士のみ
	9	肺炎・無気肺に対する呼吸理学療法	理学療法士のみ
	10	外科手術後の呼吸理学療法	理学療法士のみ
	11	終末期における理学療法	理学療法士のみ
	12	自立支援や疾病管理の補助具．機器とその活用	
	13	発症予防、重症化予防、再発予防	
	14	患者・家族教育の意義とその方法	
	15	社会資源の活用	
選択科目	1	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編１）（画像評価の実際）	
	2	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編２）（呼吸障害把握のための身体所見のとりかた）	理学療法士のみ
	3	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編３）（運動耐容能評価の実際）	理学療法士のみ
	4	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編４）（ADL・QOL評価の実際）	理学療法士のみ
	5	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編５）（コンディショニングの実際）	理学療法士のみ
	6	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編６）（運動療法の実際）	理学療法士のみ
	7	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編７）（排痰法の実際）	理学療法士のみ
	8	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編８）（吸引の実際）	

【別紙】講師の職種

代謝

科目名			講師の職種
必須科目	1	正常な構造・機能と疾病の基礎	
	2	医学的診断と治療介入	
	3	糖尿病治療に関わるチーム医療の役割	
	4	運動療法のエビデンス	理学療法士のみ
	5	疾患によって生じる障害とその評価および予後予測	
	6	心理・行動学的な理論に基づいた患者教育および自己管理行動の促進	
	7	運動療法・身体活動とその効果、理学療法介入と血糖管理	理学療法士のみ
	8	合併症に対する理学療法：糖尿病性神経障害	理学療法士のみ
	9	合併症に対する理学療法：糖尿病網膜症	理学療法士のみ
	10	合併症に対する理学療法：糖尿病性腎症	理学療法士のみ
	11	合併症に対する理学療法：糖尿病足病変	理学療法士のみ
	12	糖尿病を有する理学療法対象患者への対応	理学療法士のみ
	13	高齢糖尿病者に対する理学療法	理学療法士のみ
	14	小児・思春期および妊娠と糖尿病における糖尿病理学療法	理学療法士のみ
	15	糖尿病患者への社会生活支援	
選択科目	1	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編１）（フィジカルアセスメントの実際）	理学療法士のみ
	2	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編２）（身体機能評価の実際）	理学療法士のみ
	3	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編３）（運動負荷試験とその解釈）	理学療法士のみ
	4	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編４）（運動処方とリスク管理）	
	5	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編５）（フットケアの実際）	
	6	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編６）（他職種連携の実際）	
	7	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編７）（個別指導と集団指導の実際）	理学療法士のみ
	8	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編８）（高齢糖尿病患者への介入）	理学療法士のみ

【別紙】講師の職種

地域理学療法			
科目名			講師の職種
必須科目	1	地域理学療法学概説	理学療法士のみ
	2	地域理学療法に関わる制度	理学療法士のみ
	3	理学療法介入の意義と理学療法士の役割	理学療法士のみ
	4	地域理学療法における理学療法評価	理学療法士のみ
	5	プライマリ・ケアにおける多職種の役割	
	6	訪問介護員、介護支援専門員の役割	
	7	訪問サービスにおける理学療法と保険制度	理学療法士のみ
	8	通所サービスにおける理学療法と保険制度	理学療法士のみ
	9	施設サービスにおける理学療法と保険制度	理学療法士のみ
	10	在宅生活の充実と社会参加促進のための生活期理学療法	理学療法士のみ
	11	終末期における理学療法	理学療法士のみ
	12	自立支援や疾病管理の福祉用具や関係機器、社会資源の活用	
	13	発症予防、重症化予防、再発予防	
	14	患者（利用者）・家族教育の意義とその方法	
	15	地域理学療法の将来展望	理学療法士のみ
選択科目	1	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編１）（ヘルパー、訪問看護師が行う介助方法の実際）	
	2	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編２）（家族が行う介助方法の実際）	
	3	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編３）（歩行補助具の見直しと装具作成の実際）	
	4	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編４）（住宅環境調整の実際）	
	5	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編５）（緊急時対応、皮膚・フットケアの実際）	
	6	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編６）（在宅で生活するがん患者の実際）	
	7	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編７）（在宅で生活する在宅酸素療法患者の実際）	
	8	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編８）（在宅で生活する小児の実際）	

【別紙】講師の職種

健康増進・参加			
科目名			講師の職種
必須科目	1	健康とその管理	
	2	生活習慣病の病因と診断	
	3	健康増進に関する政策および施策	
	4	運動生理学	
	5	機能解剖とバイオメカニクス	
	6	運動プログラム作成の理論的背景	理学療法士のみ
	7	行動変容とその援助	
	8	心の健康とその管理	
	9	成長・発達と身体の変化	
	10	性差および加齢変化	
	11	介護予防としての健康増進・参加	理学療法士のみ
	12	栄養管理と健康増進	
	13	発症予防、重症化予防、再発予防	
	14	患者・家族教育の意義とその方法	
	15	社会資源の活用	
選択科目	1	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編１）（フィジカルアセスメントとリスク管理）	理学療法士のみ
	2	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編２）（体力測定・評価の実際）	
	3	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編３）（運動負荷試験とその解釈）	
	4	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編４）（運動処方とリスク管理）	
	5	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編５）（ストレスマネジメントとカウンセリング）	
	6	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編６）（一次救命処置）	
	7	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編７）（個別指導と集団指導の実際）	
	8	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編８）（高齢者への介入）	

【別紙】講師の職種

介護予防

科目名			講師の職種
必須科目	1	介護予防概説	
	2	介護予防に関わる制度	
	3	介護予防における理学療法士の役割	理学療法士のみ
	4	機能・活動・参加に対する加齢の影響	
	5	要介護の要因	
	6	要介護化のリスク	
	7	介護予防における理学療法評価	理学療法士のみ
	8	介護予防における理学療法介入	理学療法士のみ
	9	介護予防事業の推進支援	
	10	介護予防へのかかわり方の実際（訪問・通所）	理学療法士のみ
	11	介護予防へのかかわり方の実際（通いの場）	理学療法士のみ
	12	介護予防へのかかわり方の実際（講演会、研修会）	理学療法士のみ
	13	介護予防へのかかわり方の実際（地域ケア会議）	理学療法士のみ
	14	介護予防のための安全管理	理学療法士のみ
	15	介護予防理学療法の将来展望	理学療法士のみ
選択科目	1	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編１）（ヘルスコミュニケーションの実際）	理学療法士のみ
	2	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編２）（運動器の機能低下予防の実際）	理学療法士のみ
	3	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編３）（転倒予防の実際）	理学療法士のみ
	4	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編４）（認知機能低下予防の実際）	理学療法士のみ
	5	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編５）（地域における介護予防の実際）	理学療法士のみ
	6	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編６）（病院・施設における介護予防の実際）	理学療法士のみ
	7	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編７）（介護予防におけるセーフティプロモーションの実際）	理学療法士のみ
	8	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編８）（科学的根拠に基づく介護予防の実際）	理学療法士のみ

【別紙】講師の職種

補装具

科目名			講師の職種
必須科目	1	補装具の分野における理学療法学概説	理学療法士のみ
	2	補装具：義肢、装具	
	3	補装具：車椅子、電動車椅子	
	4	補装具：歩行器、歩行補助杖	
	5	補装具：重度障害者用意思伝達装置、座位保持装置など	
	6	適切な補装具の処方のための理学療法評価	理学療法士のみ
	7	障害者総合支援法の概要、補装具費支給制度の理解	
	8	社会資源の活用	
	9	装具療法の理解と実際、治療用装具	理学療法士のみ
	10	患者・家族教育の意義とその方法	理学療法士のみ
	11	義肢・装具作成後の定期点検（フォローアップ）	
	12	安全管理と他職種連携	
	13	補装具の分野における理学療法士の役割	理学療法士のみ
	14	自立支援ロボット（歩行補助ロボット等）	
	15	補装具領域における将来展望	
選択科目	1	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編１）（義足アライメントの問題と対処方法の実際）	理学療法士のみ
	2	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編２）（短下肢装具と長下肢装具の適応と実際）	理学療法士のみ
	3	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編３）（車いす、電動車いすの適応と実際）	理学療法士のみ
	4	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編４）（歩行器、歩行補助杖の適応と実際）	理学療法士のみ
	5	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編５）（意思伝達装置、座位保持装置の適応と実際）	理学療法士のみ
	6	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編６）（装具チェックポイントとバイオメカニクスの実際）	理学療法士のみ
	7	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編７）（装具療法の実際、最新のエビデンス）	理学療法士のみ
	8	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編８）（自立支援ロボットの実際）	理学療法士のみ

【別紙】講師の職種

物理療法

科目名			講師の職種
必須科目	1	物理療法の歴史と定義（用語）	理学療法士のみ
	2	ガイドラインにおける物理療法の意義	理学療法士のみ
	3	疼痛制御に関する生理学・病理学と物理療法	
	4	温熱・寒冷療法の基本的知識と生理学的機序　適応と禁忌	理学療法士のみ
	5	超音波療法の基本的知識と生理学的機序　適応と禁忌	理学療法士のみ
	6	超短波・極超短波の基本的知識と生理学的機序　適応と禁忌	理学療法士のみ
	7	衝撃波（圧力波）療法の基本的知識と生理学的機序　適応と禁忌	理学療法士のみ
	8	電気刺激療法の基本的知識と生理学的機序　適応と禁忌	理学療法士のみ
	9	バイオフィードバック療法の基本的知識と生理学的機序　適応と禁忌	理学療法士のみ
	10	光線療法（レーザー・赤外線・紫外線）の基本的知識と生理学的機序　適応と禁忌	理学療法士のみ
	11	水治療法の基本的知識と生理学的機序　適応と禁忌	理学療法士のみ
	12	牽引療法の基本的知識と生理学的機序　適応と禁忌	理学療法士のみ
	13	圧迫・振動療法（局所振動・全身振動）の基本的知識と生理学的機序　適応と禁忌	理学療法士のみ
	14	神経生理学的検査を用いた評価の基本と実際	
	15	物理療法機器保守管理総論	
選択科目	1	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編１）（脳卒中に対する機能的電気刺激療法の実際）	理学療法士のみ
	2	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編２）（疼痛管理における経皮的電気刺激療法の実際）	理学療法士のみ
	3	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編３）（運動器疾患における物理療法の実際）	理学療法士のみ
	4	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編４）（スポーツの領域における物理療法の実際）	理学療法士のみ
	5	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編５）（創傷・褥瘡に対する電気刺激療法の実際）	
	6	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編６）（ウイメンズヘルスに対する物理療法の実際）	
	7	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編７）（超音波画像装置を用いた評価の理論と実際）	
	8	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編８）（非侵襲的脳刺激療法の理論と実際）	

【別紙】講師の職種

褥瘡創傷・ケア

科目名			講師の職種
必須科目	1	正常な構造・機能と疾病の基礎	
	2	医学的診断と治療介入	
	3	理学療法介入の意義と理学療法士の役割	理学療法士のみ
	4	褥瘡・創傷によって生じる障害とその評価および予後予測	
	5	褥瘡・創傷による運動機能障害に対する理学療法	理学療法士のみ
	6	褥瘡・創傷による創面環境調整に対する理学療法	理学療法士のみ
	7	褥瘡・創傷による活動・参加制限に対する理学療法	理学療法士のみ
	8	早期離床と合併症予防のための急性期理学療法	理学療法士のみ
	9	機能回復と日常生活活動自立に向けた回復期理学療法	理学療法士のみ
	10	在宅生活の充実と社会参加促進のための生活期理学療法	理学療法士のみ
	11	終末期における理学療法	理学療法士のみ
	12	自立支援や疾病管理の補助具．機器とその活用	
	13	発症予防、重症化予防、再発予防、合併症予防	
	14	患者・家族教育の意義とその方法	
	15	社会資源の活用	
選択科目	1	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編１）（熱傷に対する予防・ケアの実際）	
	2	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編２）（褥瘡に対する予防・ケアの実際）	
	3	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編３）（創傷一般に対する予防・ケアの実際）	
	4	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編４）（減圧・体位変換の実際）	理学療法士のみ
	5	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編５）（皮膚管理（スキンケア）の実際）	
	6	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編６）（シーティングの実際）	理学療法士のみ
	7	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編７）（栄養状態の改善の実際）	
	8	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編８）（褥瘡・創傷ケアにおける物理療法の実際）	

【別紙】講師の職種

疼痛管理

科目名			講師の職種
必須科目	1	疼痛の生理学的機序	
	2	慢性疼痛のエビデンスと介入法	
	3	末梢性・中枢性感作の基礎と介入法	
	4	慢性疼痛患者の心理・行動とコミュニケーション	
	5	疼痛に対する薬物療法	
	6	疼痛のスクリーニングと問診	
	7	疼痛の評価	
	8	疼痛に対する徒手療法・運動療法	理学療法士のみ
	9	疼痛に対する物理療法　電気刺激療法	理学療法士のみ
	10	疼痛に対する物理療法　温熱療法・寒冷療法・超音波療法	理学療法士のみ
	11	複合性局所疼痛症候群（CRPS）の基礎と介入法	
	12	患者教育・セルフマネジメントの意義とその方法	
	13	疼痛に対する認知行動療法	
	14	疼痛に対する集学的アプローチ	
	15	疼痛の重症化予防，再発予防	
選択科目	1	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編１）（脳卒中患者の疼痛に対する疼痛管理）	理学療法士のみ
	2	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編２）（幻視痛に対する疼痛管理）	
	3	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編３）（頸部痛に対する疼痛管理）	
	4	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編４）（腰痛に対する疼痛管理）	理学療法士のみ
	5	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編５）（膝関節痛に対する疼痛管理）	理学療法士のみ
	6	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編６）（急性痛（術後痛）に関する疼痛管理）	
	7	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編７）（がん性疼痛に対する疼痛管理）	
	8	疾病・障害特異的理学療法の実際（技術編８）（CRPSに対する疼痛管理）	

【別紙】講師の職種

臨床教育

科目名			講師の職種
必須科目	1	管理学総論	
	2	教育学総論	
	3	組織学総論	
	4	情報学総論	
	5	理学療法概論	理学療法士のみ
	6	理学療法管理概論	理学療法士のみ
	7	理学療法専門概論	理学療法士のみ
	8	人材育成論	
	9	人的資源管理論	
	10	理学療法組織管理論	理学療法士のみ
	11	ヘルスケアサービス管理論	
	12	医療経済論	
	13	保健医療福祉政策論	
	14	保健医療福祉組織論	
	15	経営管理論	
選択科目	1	臨床教育の実際（技術編１）On the Job Trainingの実際	理学療法士のみ
	2	臨床教育の実際（技術編２）Off the Job Trainingの実際	理学療法士のみ
	3	臨床教育の実際（技術編３）他職種連携・他職種協働	理学療法士のみ
	4	臨床教育の実際（技術編４）臨床教育効果判定	理学療法士のみ
	5	臨床教育の実際（技術編５）臨床実習指導法	理学療法士のみ
	6	臨床教育の実際（技術編６）クリニカルラダー	理学療法士のみ
	7	臨床教育の実際（技術編７）コミュニケーション論	理学療法士のみ
	8	臨床教育の実際（技術編８）研究活動教育	理学療法士のみ

【別紙】講師の職種

管理・運営

科目名			講師の職種
必須科目	1	管理学総論	
	2	教育学総論	
	3	組織学総論	
	4	情報学総論	
	5	理学療法概論	理学療法士のみ
	6	理学療法管理概論	理学療法士のみ
	7	理学療法専門概論	理学療法士のみ
	8	人材育成論	
	9	人的資源管理論	
	10	理学療法組織管理論	理学療法士のみ
	11	ヘルスケアサービス管理論	
	12	医療経済論	
	13	保健医療福祉政策論	
	14	保健医療福祉組織論	
	15	経営管理論	
選択科目	1	領域・医療機関機能別の理学療法管理・運営の実際（技術編１）（急性期医療）	理学療法士のみ
	2	領域・医療機関機能別の理学療法管理・運営の実際（技術編２）（回復期病棟）	理学療法士のみ
	3	領域・医療機関機能別の理学療法管理・運営の実際（技術編３）（療養病棟）	理学療法士のみ
	4	領域・医療機関機能別の理学療法管理・運営の実際（技術編４）（小児施設）	理学療法士のみ
	5	領域・医療機関機能別の理学療法管理・運営の実際（技術編５）（訪問理学療法）	理学療法士のみ
	6	領域・医療機関機能別の理学療法管理・運営の実際（技術編６）（通所施設）	理学療法士のみ
	7	領域・医療機関機能別の理学療法管理・運営の実際（技術編７）（介護保険施設）	理学療法士のみ
	8	災害・緊急時の避難所における理学療法管理・運営の実際（技術編８）	理学療法士のみ

【別紙】講師の職種

学校教育			
科目名			講師の職種
必須科目	1	管理学総論	
	2	教育学総論	
	3	組織学総論	
	4	情報学総論	
	5	理学療法概論	理学療法士のみ
	6	理学療法管理概論	理学療法士のみ
	7	理学療法専門概論	理学療法士のみ
	8	人材育成論	
	9	人的資源管理論	
	10	理学療法組織管理論	理学療法士のみ
	11	ヘルスケアサービス管理論	
	12	医療経済論	
	13	保健医療福祉政策論	
	14	保健医療福祉組織論	
	15	経営管理論	
選択科目	1	学校教育の実際（技術編１）（授業設計の実際）	
	2	学校教育の実際（技術編２）（講義法の実際）	
	3	学校教育の実際（技術編３）（アクティブラーニングの実際）	
	4	学校教育の実際（技術編４）（学習評価の実際）	
	5	学校教育の実際（技術編５）（研究指導の実際）	
	6	学校教育の実際（技術編６）（授業改善の実際）	
	7	学校教育の実際（技術編７）（臨床実習の意義）	
	8	学校教育の実際（技術編８）（障害学生支援の実際）	